



「えくぼ」は^{いでん}遺伝するの

「えくぼ」は^{いでん}遺伝するといわれている

「えくぼ」は、^{いでん}遺伝に^{ふか}深い^{かんけい}関係があるといわれています。

^{りょうしん}両親とも「えくぼ」があれば、その^{あいだ}間に^う生まれた^こ子どもには、^{ぶん}4分の3まで「えくぼ」ができ、^{りょうしん}両親の^{いっぽう}どちらか一方だけに「えくぼ」がある^{ばあい}場合には、その^こ子どもの^{はんぶん}半分に「えくぼ」ができるのだそうです。

では、^{りょうしん}両親の^{いづれ}どちらにも「えくぼ」がない^{ばあい}場合、「えくぼ」ができる^こ子どもが^う生まれな^いいかという^と、そうではなく、この^{ばあい}場合にも、^{にん}10人に^{ひとり}一人くらいは、「えくぼ」のできる^こ子どもが^う生まれる^とそうです。

「えくぼ」ができるのは

^{かお}顔の^{ほお}ほおにできるくぼみが「えくぼ」で、^{わら}笑うとくぼむので、「^{わら}笑いくぼ」といいます。

「えくぼ」のくぼみは、^{くち}口の^{さゆう}左右から、^{そと}外側の^{した}下の方へ、つまり、^{ほう}あごの^{ほう}方に^{はし}走っている、^{きんにく}筋肉が^{ちぢ}縮んだ^{とき}にできます。

それで、^{ひと}人によって^{ふか}深い^{あさ}浅いの^{くべつ}区別ができ、^{そと}外から^み見たのでは、^{ほとん}ほとんど^{わから}わからない^{ひと}人もあります。その^{なか}中で、^{ゆび}指でおした^{よう}には^はっきり^み見える、^{ふか}深いくぼみを「えくぼ」といっているのです。（監修・保志 宏）

